

出産祝い金

3～10万円

(第1子) 3万円、(第2子) 5万円、(第3子以降) 10万円を支給

出産・子育て応援給付金

各5万円

妊娠届出後に5万円、
出産後に5万円を給付

保育料完全無償化

無料

令和5年9月から、すべての子どもの保育料を完全無償化

こどもインフルエンザ予防接種費用助成

1,000円/回

1人2回、1回1,000円助成
(接種期間:10月～1月)

こども医療費助成

全額助成

医療費(保険適用分のみ)を全額助成

拡充します
R6.10月分～

児童手当

【R6.10月分以降】

3歳未満(第1子・第2子) 15,000円
(第3子以降) 30,000円

3歳～高校生
(第1子・第2子) 10,000円
(第3子以降) 30,000円

※詳しくはP10を確認ください

放課後児童クラブ

月約5千円

放課後や長期休暇などに、
生活・遊びの場を提供
※利用料は実施クラブによって異なります

ひろげよう子育てのわ

～子育て世代に選ばれるまち やつしろ～

小・中学生

就学援助

費用援助

経済的な理由で就学が困難な人に、義務教育就学に必要な費用(給食費・学用品費など)を援助

奨学資金貸付

月2～5万円

高校・高専 1～3年生
(国公立) 20,000円以内/月
(私立) 30,000円以内/月
高専 4～5年生・大学など
(国公立) 45,000円以内/月
(私立) 50,000円以内/月

妊娠出産

乳幼児

小学生

中学生

高校生

妊産婦健診

妊婦健診(14回)、妊婦歯科健診(1回)と産後の産婦健診(1回)の費用を助成

乳幼児健診

4カ月児・7カ月児・1歳6カ月児・3歳児健診
バースデー予防歯科(1歳児)・2歳児歯科健診

ファミリーサポートセンター

1時間600円(土日祝は700円)

子どもの送迎(交通費実費)や預かりなどの会員相互による援助活動を行う

こどもプラザ・子育て支援センター

無料

親子で遊んだり、親子同士の交流、子育て講座などの開催や子育ての悩みなどの相談を行う

病児・病後児保育

病中または病気回復期の子どもを看護師・保育士が看護保育を行う

ショートステイ・トワイライトステイ

無料～5千円/日

一時的な児童福祉施設などでの預かり ※一部自己負担あり
ショートステイ(1日)
トワイライトステイ
休日 8～17時
夜間 17～22時

ひとり親支援

児童扶養手当
ひとり親家庭等医療費助成

《児童扶養手当》

ひとり親家庭の父母などに対して手当を支給
(児童1人) 45,550円～10,740円/月
(児童2人目) 10,750円～5,380円/月 加算
(児童3人目以降) 6,450円～3,230円/月 加算
※所得制限あり

《ひとり親家庭等医療費助成》

ひとり親家庭の父母などが支払った医療費(保険適用分のみ)のうち3分の2を助成
※所得制限あり

《令和6年4月、こども家庭センターを開設》

妊娠・出産・子育ての不安や悩みなど、気軽に相談ください
☎45-5523

やつしろ 結婚・妊娠・出産・子育ての総合サイト
あったかなと



世代を超えた交流の場

- 食堂名** 子ども食堂 **ななつぼし**
- 開催場所** 井上町601-1 (太田郷コミセン)
- 開催日時・頻度** 毎月第3日曜日 11:30~13:30 70食程度 (先着順)
- 利用対象** 太田郷校区の児童・生徒とその保護者・高齢者
- 利用料** 子ども 100円 (中学生まで)
大人 300円
- 連絡先** 楳木 (かじき) ☎090-7381-7813



食堂の特色・取り組みなど

太田郷校区だけでなく市内各地から利用があります。食堂は、みなさんから頂いた寄付で運営しています。この夏は、太田郷小学校の学童保育へお弁当を配布します。

今後の展望

こども食堂は、食事の提供だけでなく、私たちボランティアの交流の場でもあります。私が行ってもいいのかな？と思っています。皆さんにきてもらうことが、私たちの励みです。ようこそ、こども食堂 ななつぼしへ。

卒園しても集える場所

- 食堂名** **せいあい子ども食堂 マナ**
- 開催場所** 袋町5-1 (聖愛幼稚園内)
- 開催日時・頻度** 8月は8月24日 (土) 開催予定
詳しくは、聖愛幼稚園に問い合わせください。
- 連絡先** 聖愛幼稚園 ☎32-3303



食堂の特色・取り組みなど

「マナ」とは聖書の中にある天からの恵みで人間に与えられた食べ物の意味です。卒園児の保護者や保育士が協力してくださり、和気あいあいと楽しく活動しています。

今後の展望

地域に根ざした社会貢献活動の一環として細く長く取り組んでいきたいです。子どもたちはもちろん、子育て中の人や地域の皆さんと交流し楽しくほっと一息できる場となると嬉しいです。ぜひおいでください。



食品ロスにつなげる

- 食堂名** 子ども食堂 **いっとくや**
- 開催場所** 西片町1717-1
(株式会社 来成 相談支援しおん所内)
- 開催日時・頻度** 1回/1週~2週 (不定期開催)
30食限定 (先着順)
※開催日については問い合わせください。
- 利用対象** どなたでも
- 利用料** 200円
- 連絡先** 松下 ☎090-2338-6072



食堂の特色・取り組みなど

提供する食事は、できる限り栄養価の高い内容になるよう工夫し、規格外の食材を使うことで社会から無駄をなくせるようにしています。

今後の展望

今後はコロナ渦も終わったので集合形式でのもっと今よりも楽しめる内容で開催をできるよう進めていきたいと考えています。



みんなが集まる、第三の居場所

- 食堂名** **おおたごうキッチン**
- 開催場所** 西片町2132-11
- 開催日時・頻度** 毎月第4日曜日 11:30~13:30 20食限定 (予約制)
- 利用対象** どなたでも
- 利用料** 高校生以下 無料
大人 100円
- 連絡先** ☎080-8599-5742

食堂の特色・取り組みなど

ひとり親家庭などの子育てに関する支援、相談、地域の学習教室、子ども食堂に集う人の交流会などの取り組みを通して第三の居場所づくりをしています。

今後の展望

どんな子どもでも、子ども一人でも無料で参加できるのが「おおたごうキッチン」です。また、地域の誰もが低額で参加できるのも大きな特徴です。子どもや大人たちが集い、「多様な人との共食」と居場所づくりをこれからも続けていきます。



子ども食堂

子どものつどいの場

全国的に広がっている「子ども食堂」。子どもの孤立、孤食を支援する目的から始まった活動は、いまは、つどいの場として、子どもたちの学習や遊びの場、高齢者などの地域住民の交流・つどいの場としても活用されています。

本市で、無料または低価格で子どもたちなどに食事を提供している、地域の交流の場である「子ども食堂」を紹介します。



八代市子ども食堂
開設一覧

たくさん遊んで、たくさん食べよう

食堂名 やちわっ子ひろば

- 開催場所** 上野町1193-1 (八千把コミセン)
- 開催日時・頻度** 毎月第4土曜日 10:30~ 35食程度
- 利用対象** 八千把小児童、第四中生徒、保護者 (予約制)
- 利用料** 100円
- 連絡先** 八千把校区民生委員児童委員協議会
寺田 ☎090-4359-6824



食堂の特色・取り組みなど

初めて参加した人も楽しく過ごせるよう、会食の前にゲーム大会や折り紙教室、たまには子どもたちのリクエストに応えながらレクリエーションをしています。

今後の展望

保護者から「おいしかった」「レシピが知りたい」などの感想をいただき、校区の親子の安心安全な居場所として定着してきたことを実感しています。これからもやちわっ子の成長を見守っていききたいと思います。

生きることは食べること

食堂名 子ども・地域食堂 **らくど**

- 開催場所** ・永碇町754-2 (松高コミセン)
・本野町505 (高田コミセン)
- 開催日時・頻度** (松高) 毎月第3土曜日 11:30~
100食限定 (先着順)
(高田) 毎月第1土曜日 11:30~
50食限定 (先着順)
- 利用対象** どなたでも
- 利用料** 子ども 200円 (中学生まで) / 大人 500円
生活困窮者 ひとり親家庭 無料 (事前に要相談)
※利用するには、会員手続きが必要です
- 連絡先** ボランティアネットワーク エイト
村上 ☎090-1878-6518

Facebook



インスタ



食堂の特色・取り組みなど

1月から災害のあった能登地域の食材を使った食事を提供。食べて支援を実践するなど、教育的な取り組みや他の団体と協力して、遊びと学びを提供しています。

今後の展望

食事をとおして、地域の人々の結びつきが強くなり、コミュニティの形成に一役担えればという思いで活動をしています。今後は、避難所などで温かい食事を提供できたらと思います。



私たち「優里の会」は、里親家庭の支援のほか、児童虐待防止事業や、相談支援を通じて、子どもたちの健やかな成長のために活動を行っています。令和2年12月からは、八代を含む熊本県南部のフォスタリング機関として、また、4月からは新たな役割も加わり、里親支援センター「県南里親支援センターゆうり」として里親制度の啓発から、研修、訪問支援など包括的に行っています。八代では、八代高校の「探究の時間」において、里親制度の紹介や里親の体験談などを聞いてもらうことで、高校生の自主的な取り組み

里親委託率向上を目指して、里親への手厚い支援が始まりました
令和2年12月、里親制度を所管する県は、里親希望者の発掘から、里親になった後の支援までを一貫して行うフォスタリング機関を設置しました。八代児童相談所管内は、「NPO法人 優里の会」が担当しています。

「優里の会」の取り組みを教えてください



にしかわ しんいちろう
西川 伸一郎さん
NPO法人 優里の会
八代市西片町2132番地11
☎ 62-8998

につなげています。また、昨年10月には、桜十字ホールやつしろで「さとおやこそだてマルシェ」を開催し、多くの人に来場いただきました。このように、私たちも周知には努めています。熊本県では、まだまだ里親の数が足りないのが現状です。里親を支える事業として、里子の短時間預かりや家事支援など、里親家庭をサポートする制度もあります。支援を必要とする子どもたちはたくさんいます。八代の子どもたちを支えてあげられるのはみなさんです。気軽に応援できる八代市になったらいですね。

ひとり親家庭に寄り添う

熊本県ひとり親家庭福祉協議会は、令和6年3月に西片町に県南拠点を設置し、本市をはじめ県南地域のひとり親家庭の皆さんに寄り添う活動をしています。毎週火、木曜日に小中学生を対象に実施している地域の学習教室では、参加した子どもたちが真剣な眼差しで学習に取り組んでいます。また、第4日曜日には子ども食堂「おおたごうキッチン」を開催しています。現在、仕事や生活の相談会・セミナーや茶話会なども計画しています。今後も子どもたちの第三の居場所になればと思います。今後とも活動していきます。



社会福祉法人
熊本県ひとり親家庭
福祉協議会（県南拠点）
八代市西片町2132番地11
☎ 096-331-6735



▲事務所外観

子どもたちを未来へつなぐ ～ 里親制度 ～

さまざまな事情で家族と離れて暮らし、あたたかい家庭環境を必要とする子どもたちは全国で約4万2000人、県内では約650人います。

里親制度は、そのような子どもを家族の一員として自らの家庭に迎え入れ、保護者に代わりあたたかい愛情と正しい理解をもって養育する制度です。

里親制度が必要とされる現状

県内で虐待などで親元を離れて暮らす子どもは、令和4年度は652人。そのうち114人が里親などの家庭で生活していますが、残る約8割の子どもは、施設で暮らしています。令和4年度里親等委託率は、全国平均22・8%に対し、県は17・5%と下回り、里親の数が足りていない状況です。

里親になるためには、研修を受け、一定の条件を満たせば、特別な資格は不要です。

里親になる条件

- 1 心身ともに健全であること
- 2 子どもの養育について理解や熱意、愛情をもっていること
- 3 経済的に困窮していないこと
- 4 本人またはその同居人が過去に虐待などをしていないこと

里親の種類

養育里親

内容
一定期間、家族の一員として養育
手当等の公的補助
生活費等+里親手当（月9万円）

専門里親

内容
虐待、非行、障がいなど専門的な
援助を必要とする子どもを養育
手当等の公的補助
生活費等+里親手当（14万1千円）

養子縁組里親

内容
養子縁組によって、子どもの親になる
手当等の公的補助 ※養子縁組が成立するまで
生活費等

親族里親

内容
祖父母などの親族が養育
手当等の公的補助
生活費等